

大学番号 私立6

注3

設置年度 平成 31年度  
計画の区分： 学部の設置  
注1

認可

北海道医療大学 医療技術学部

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 東日本学園  
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画部総務企画課

職名・氏名 課長 熊谷拓真

電話番号 0133-22-2111

（夜間） 0133-23-1211

e-mail soumu@hoku-iryo-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 医療技術学部

＜臨床検査学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	31

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 東日本学園

## (2) 大学名

北海道医療大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒002-8072 北海道札幌市北区あいの里2条5丁目  
(〒061-0293 北海道石狩郡当別町字金沢1757番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(トウゴウ シゲオキ) 東郷重興 (平成24年10月)		
学長	(アサカ マサヒロ) 浅香正博 (平成28年4月)		
学部長	(コウムラ チカシ) 幸村近 (平成31年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)  
令和3年度に報告する内容 → (3)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医療技術学部 臨床検査学科 学士（臨床検査学）	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	4年	60人	年次人	240人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	60 (-) [-]	( ) [ ]	60 (-) [-]	( ) [ ]	60 (-) [-]	( ) [ ]	1.14倍	— 倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	207 (-) [-]	( ) [ ]	379 (-) [-]	( ) [ ]	455 (-) [-]	( ) [ ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	200 (-) [-]	( ) [ ]	372 (-) [-]	( ) [ ]	445 (-) [-]	( ) [ ]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	108 (-) [-]	( ) [ ]	120 (-) [-]	( ) [ ]	96 (-) [-]	( ) [ ]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	72 (-) [-]	( ) [ ]	73 (-) [-]	( ) [ ]	62 (-) [-]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A					1.20		1.21		1.03				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	72 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	78 [ - ] ( 5 )	0 [ - ] ( - )	64 [ - ] ( 2 )	0 [ - ] ( - )	
2 年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	0 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	64 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	80 [ - ] ( 5 )	0 [ - ] ( - )	
3 年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	0 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	57 [ - ] ( - )
4 年次	/				[ ] ( )	[ ] ( )	0 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )	0 [ - ] ( - )
計			[ ] ( )	[ ] ( )	[ - ] ( - )	[ - ] ( - )	72 [ - ] ( - )	142 [ - ] ( 5 )	201 [ - ] ( 7 )		

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	72 人	0 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	145 人	6 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	6 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、学力不足(2人)、他の教育機関への入学(1人)、除籍(1人)
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	201 人	0 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合計		6 人		6 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{72} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{145} = \boxed{4.13} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{201} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<医療技術学部 臨床検査学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学教育科目	基礎ゼミナール(自然科学概論演習)	1前	1			1		5			兼6
	文章指導(日本語の表現)	1後	1								兼1
	人間と思想(哲学)	1後		2							兼1
	人間と思想(科学技術社会と倫理)	1前		2							兼1
	人間と思想(心理学)	1後		2							兼1
	人間と文化(医療の人類学)	1前		2							兼1
	人間と文化(医療社会史)	1前		2							兼1
	人間と社会(医療の法学)	1後		2							兼1
	人間と社会(医療の経済学)	1後		2							兼1
	英語 I(オーラル・イングリッシュA)	1前	1								兼2
	英語 I(オーラル・イングリッシュB)	1後	1								兼2
	英語 II(英語 IIA)	2前	1				1				
	英語 II(英語 IIB)	3前	1				1				
	英語 III(医療英語基礎)	4前	1			6		7			
	初修外国語(初級ドイツ語)	1前		1							兼1
	初修外国語(中級ドイツ語)	1後		1							兼1
	初修外国語(初級ロシア語)	1前		1							兼1
	初修外国語(中級ロシア語)	1後		1							兼1
	初修外国語(初級中国語)	1前		1							兼1
	初修外国語(中級中国語)	1後		1							兼1
	運動科学演習(運動科学演習)	1後	1								兼1
	情報科学(情報科学)	1後	2								兼1
	情報処理演習(医療情報処理演習)	1後	1								兼1
	統計学(基礎統計学)	1前					1				
	統計学(医療疫学統計学)	4前	2					1			
	物理学(物理学)	1前	2								兼1
化学(化学)	1前	2						1			
生物学(生命科学)	1前	2								兼1	
自然科学入門(基礎数学)	1前			1						兼1	
自然科学入門(基礎化学)	1前			1			1				
自然科学入門(基礎生物学)	1前			1	1						
多職種連携(多職種連携入門)	1前	2			1		2	1		兼30	
医療倫理(基礎医療倫理学)	1後	1								兼1	
小計(33科目)	-	23	20	3	6	0	8	1	0	兼50	
専門基礎科目	解剖学 I	1前	1			1					
	解剖学 II	1後	1			1		2			
	解剖学実習	2前	1			1		4			兼3
	生理学 I	1前	1			1					兼1
	生理学 II	1後	1			1					
	生理学実習	2前	1			1			2		
	生化学 I	1前	1			1					
	生化学 II	1後	1			1					
	生化学実習	2前	1			2		1			
	医学概論	1前	1			1					兼1
	病理学	1後	1			1					兼1
	薬理学	2後	1								兼1
	栄養学	2後	1								兼1
	臨床検査学入門 I	1前	1			3		6	2		
	臨床検査学入門 II	2前	1			1		3			
	公衆衛生学	1後	1								兼1
	公衆衛生学実習	2前	1			1		1			
	関係法規	4前	1			2		1			
	医療情報科学	3前	1					1			兼1
	医用工学概論	2前	1					1			
	医用工学実習	2後	1					1	1		
小計(21科目)	-	21	0	0	7	0	6	2	0	兼10	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学教育科目	基礎ゼミナール(自然科学概論演習)	1前	1			1	1	4			兼6
	文章指導(日本語の表現)	1後	1								兼2
	人間と思想(哲学)	1後		2							兼1
	人間と思想(科学技術社会と倫理)	1前		2							兼1
	人間と思想(心理学)	1後		2							兼1
	人間と文化(医療の人類学)	1前		2							兼1
	人間と文化(医療社会史)	1前		2							兼1
	人間と社会(医療の法学)	1後		2							兼1
	人間と社会(医療の経済学)	1後		2							兼1
	英語 I(オーラル・イングリッシュA)	1前	1								兼2
	英語 I(オーラル・イングリッシュB)	1後	1								兼2
	英語 II(英語 IIA)	2前	1						1		
	英語 II(英語 IIB)	3前	1						1		
	英語 III(医療英語基礎)	4前	1			6		7			
	初修外国語(初級ドイツ語)	1前		1							兼1
	初修外国語(中級ドイツ語)	1後		1							兼1
	初修外国語(初級ロシア語)	1前		1							兼1
	初修外国語(中級ロシア語)	1後		1							兼1
	初修外国語(初級中国語)	1前		1							兼1
	初修外国語(中級中国語)	1後		1							兼1
	運動科学演習(運動科学演習)	1後	1								兼3
	情報科学(情報科学)	1後	2								兼1
	情報処理演習(医療情報処理演習)	1後	1								兼1
	統計学(基礎統計学)	1前							1		
	統計学(医療疫学統計学)	4前	2						1		
	物理学(物理学)	1前	2								兼1
化学(化学)	1前	2						1			
生物学(生命科学)	1前	2								兼1	
自然科学入門(基礎数学)	1前			1						兼1	
自然科学入門(基礎化学)	1前			1			1				
自然科学入門(基礎生物学)	1前			1	1						
多職種連携(多職種連携入門)	1前	2			1		2	1		兼26	
多職種連携(全学連携包括シナリオ実演演習)	3前		2						1	兼14	
医療倫理(基礎医療倫理学)	1後	1								兼1	
小計(34科目)	-	23	22	3	6	1	7	2	0	兼58	
専門基礎科目	解剖学 I	1前	1			1					
	解剖学 II	1後	1			1		2			
	解剖学実習	2前	1			1		4			兼3
	生理学 I	1前	1			1					兼1
	生理学 II	1後	1			1					
	生理学実習	2前	1			1			2		
	生化学 I	1前	1			1					兼1
	生化学 II	1後	1			1					兼1
	生化学実習	2前	1			2		1			兼4
	医学概論	1前	1			1					兼1
	病理学	1後	1			1					兼1
	薬理学	2後	1								兼1
	栄養学	2後	1								兼1
	臨床検査学入門 I	1前	1			3		6	2		
	臨床検査学入門 II	2前	1			1		3			
	公衆衛生学	1後	1								兼1
	公衆衛生学実習	2前	1			1		1			
	関係法規	4前	1			2		1			
	医療情報科学	3前	1					1			兼1
	医用工学概論	2前	1					1			
	医用工学実習	2後	1					1	1		
小計(21科目)	-	21	0	0	7	0	6	2	0	兼12	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	臨床病態学Ⅰ	2前	1			1					兼1
	臨床病態学Ⅱ	2後	1			1					
	臨床病態学Ⅲ	2後	1			1					
	臨床検査医学総論演習	4前	1			1					
	臨床血液学Ⅰ	2前	1			1					
	臨床血液学Ⅱ	2後	1			1					
	臨床血液学実習	3前	2			2		1			兼1
	臨床血液学演習	4前	1			1		1			
	医療分子機能科学	4前		1		1					
	臨床病理検査学	2前	1					2			兼1
	臨床細胞診断学	2後	1					2			
	臨床細胞病理学実習	3前	2					2			
	臨床細胞病理学演習	4前	1					2			
	分子細胞病理学	4前		1				1			
	臨床化学Ⅰ	2前	1			1		1			
	臨床化学Ⅱ	2後	1			1		1			
	臨床化学実習	3前	2			2		1			
	臨床化学演習	4前	1			1		1			
	先進医療検査学	4前		1		1					
	臨床検査学総論Ⅰ	1後	1			1					
	臨床検査学総論Ⅱ	2前	1			1					
	臨床検査学総論実習	2後	2			2		1			兼1
	臨床検査学総論演習	4前	1			1					兼1
	核医学概論	2後	1								兼1
	遺伝子検査学	2前	1			1					
	遺伝子検査学実習	2後	1			1		1			
	遺伝子・染色体分析科学	4前		1		1					
	免疫検査学Ⅰ	2前	1			1					
	免疫検査学Ⅱ	2後	1			1					
	免疫検査学実習	3後	2			2		1			
	免疫検査学演習	4前	1			1					
	輸血・移植学演習	3後	1			1		1			
	免疫細胞生物学	4前		1		1					
	微生物学	2後	1			1		1			
	臨床微生物学	3前	1			1		1			兼1
微生物学実習	3後	2			1		1				
臨床微生物学演習	4前	1			1		1				
感染生物学	4前		1		1						
医動物学	2前	1			1						
医動物学演習	2後	1			1		1				
食品衛生学 ※1	4前		1							兼1	
臨床生理学Ⅰ	2前	1			1						
臨床生理学Ⅱ	2後	1					1				
臨床生理学実習	3前	2			1		2			兼1 兼2	
画像検査学	3前	1					1				
画像検査学演習	3後	2					1			兼1	
臨床生理学演習	4前	1					1				
実践超音波検査学	4前		1				1				
検査機器学	1後	1			2		3	1			
基礎機器分析演習	1後	1			1		1			兼2	
臨床検査管理学	3前	1			1						
保健医療福祉演習	2前		1		4		2			兼4	
チーム医療・コミュニケーション演習	3後		1		3		3			兼2	
医療リスクマネジメント演習	3後		1		2		2			兼5	
総合臨床検査学演習Ⅰ	2後	1			8		7	2			
総合臨床検査学演習Ⅱ	4前	1			8		7	2			
総合臨床検査学演習Ⅲ	4後	4			8		7	2			
総合臨床検査技術演習	3後	1			8		7	2			
医療安全管理学演習	4前	1			2		1				
臨床実習	3後	7			1		1	2			
臨床検査研究セミナー	4通	6			8		7	2			
健康食品学 ※1、※2	4後			1	1		1				
小計(62科目)	—	72	11	1	8	0	7	2	0	兼20	
合計(116科目)	—	116	31	4	9	0	8	2	0	兼75	

卒業要件及び履修方法

全学教育科目29単位以上(うち必修23単位)、専門教育科目97単位以上(うち必修93単位)、合計126単位以上修得する。  
(履修科目の登録の上限:46単位(年間))  
※1 食品衛生管理者・食品衛生監視員の任用資格を取得するために履修が必要。  
※2 健康食品管理士の受験資格を取得するために履修が必要。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	臨床病態学Ⅰ	2前	1			1					兼1
	臨床病態学Ⅱ	2後	1			1					
	臨床病態学Ⅲ	2後	1			1			2		
	臨床検査医学総論演習	4前	1			1					
	臨床血液学Ⅰ	2前	1			1					
	臨床血液学Ⅱ	2後	1			1					
	臨床血液学実習	3前	2			2		1			兼1
	臨床血液学演習	4前	1			1		1			
	医療分子機能科学	4前		1		1					
	臨床病理検査学	2前	1					2			兼1
	臨床細胞診断学	2後	1					2			
	臨床細胞病理学実習	3前	2					2			
	臨床細胞病理学演習	4前	1					2			
	分子細胞病理学	4前		1				1			
	臨床化学Ⅰ	2前	1			1		1			
	臨床化学Ⅱ	2後	1			1		1			
	臨床化学実習	3前	2			2		1			
	臨床化学演習	4前	1			1		1			
	先進医療検査学	4前		1		1					
	臨床検査学総論Ⅰ	1後	1			1					
	臨床検査学総論Ⅱ	2前	1			1					兼1
	臨床検査学総論実習	2後	2			2		2	1		兼1
	臨床検査学総論演習	4前	1			1					
	核医学概論	2後	1								兼1
	遺伝子検査学	2前	1			1					
	遺伝子検査学実習	2後	1			1		1	1		
	遺伝子・染色体分析科学	4前		1		1					
	免疫検査学Ⅰ	2前	1			1					
	免疫検査学Ⅱ	2後	1			1					
	免疫検査学実習	3後	2			2		2	1		
	免疫検査学演習	4前	1			1					
	輸血・移植学演習	3後	1			1		1	1		
	免疫細胞生物学	4前		1		1					
	微生物学	2後	1			1		1	1		
	臨床微生物学	3前	1			1		1	1		兼1
微生物学実習	3後	2			1		1	1			
臨床微生物学演習	4前	1			1		1	1			
感染生物学	4前		1		1						
医動物学	2前	1			1						
医動物学演習	2後	1			1		1	1			
食品衛生学 ※1	4前		1							兼1	
臨床生理学Ⅰ	2前	1			1						
臨床生理学Ⅱ	2後	1					1			兼1	
臨床生理学実習	3前	2			1		1		2	兼2	
画像検査学	3前	1					1				
画像検査学演習	3後	2					1			兼1	
臨床生理学演習	4前	1					1				
実践超音波検査学	4前		1				1				
検査機器学	1後	1			2		3	3	1		
基礎機器分析演習	1後	1			1		1			兼2	
臨床検査管理学	3前	1			1						
保健医療福祉演習	2前		1		4		2			兼5	
チーム医療・コミュニケーション演習	3後		1		3		3			兼2	
医療リスクマネジメント演習	3後		1		2		2		2	兼5	
総合臨床検査学演習Ⅰ	2後	1			8		1	6	2		
総合臨床検査学演習Ⅱ	4前	1			8		1	6	2		
総合臨床検査学演習Ⅲ	4後	4			8		1	6	2		
総合臨床検査技術演習	3後	1			8		1	6	2		
医療安全管理学演習	4前	1			2		1				
臨床実習	3後	7			1		1	1	2		
臨床検査研究セミナー	4通	6			8		1	6	2		
健康食品学 ※1、※2	4後			1	1		1				
小計(62科目)	—	72	11	1	8	1	6	2	0	兼25	
合計(117科目)	—	116	33	4	9	1	7	2	0	兼88	

卒業要件及び履修方法

全学教育科目29単位以上(うち必修23単位)、専門教育科目97単位以上(うち必修93単位)、合計126単位以上修得する。  
(履修科目の登録の上限:46単位(年間))  
※1 食品衛生管理者・食品衛生監視員の任用資格を取得するために履修が必要。  
※2 健康食品管理士の受験資格を取得するために履修が必要。

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学教育科目	基礎ゼミナール(自然科学概論演習)	1前	1			1		5			兼6
	文章指導(日本語の表現)	1後	1								兼1
	人間と思想(哲学)	1後		2							兼1
	人間と思想(科学技術社会と倫理)	1前		2							兼1
	人間と思想(心理学)	1後		2							兼1
	人間と文化(医療の人類学)	1前		2							兼1
	人間と文化(医療社会史)	1前		2							兼1
	人間と社会(医療の法学)	1後		2							兼1
	人間と社会(医療の経済学)	1後		2							兼1
	英語 I(オーラル・イングリッシュA)	1前	1								兼2
	英語 I(オーラル・イングリッシュB)	1後	1								兼2
	英語 II(英語 IIA)	2前	1					1			
	英語 II(英語 IIB)	3前	1					1			
	英語 III(医療英語基礎)	4前	1			6		7			
	初修外国語(初級ドイツ語)	1前		1							兼1
	初修外国語(中級ドイツ語)	1後		1							兼1
	初修外国語(初級ロシア語)	1前		1							兼1
	初修外国語(中級ロシア語)	1後		1							兼1
	初修外国語(初級中国語)	1前		1							兼1
	初修外国語(中級中国語)	1後		1							兼1
	運動科学演習(運動科学演習)	1後	1								兼1
	情報科学(情報科学)	1後	2								兼1
	情報処理演習(医療情報処理演習)	1後	1								兼1
	統計学(基礎統計学)	1前	1					1			
	統計学(医療疫学統計学)	4前	2					1			
	物理学(物理学)	1前	2								兼1
化学(化学)	1前	2					1				
生物学(生命科学)	1前	2								兼1	
自然科学入門(基礎数学)	1前			1						兼1	
自然科学入門(基礎化学)	1前			1			1				
自然科学入門(基礎生物学)	1前			1	1						
多職種連携(多職種連携入門)	1前	2			1		2	1		兼30	
医療倫理(基礎医療倫理学)	1後	1								兼1	
小計(33科目)	-	23	20	3	6	0	8	1	0	兼50	
専門基礎科目	解剖学 I	1前	1			1					
	解剖学 II	1後	1			1		2			
	解剖学実習	2前	1			1		4			兼3
	生理学 I	1前	1			1					兼1
	生理学 II	1後	1			1					
	生理学実習	2前	1			1		2			
	生化学 I	1前	1			1					
	生化学 II	1後	1			1					
	生化学実習	2前	1			2		1			
	医学概論	1前	1			1					兼1
	病理学	1後	1			1					兼1
	薬理学	2後	1								兼1
	栄養学	2後	1								兼1
	臨床検査学入門 I	1前	1			3		6	2		
	臨床検査学入門 II	2前	1			1		3			
	公衆衛生学	1後	1								兼1
	公衆衛生学実習	2前	1			1		1			
関係法規	4前	1			2		1				
医療情報科学	3前	1					1			兼1	
医用工学概論	2前	1					1				
医用工学実習	2後	1					1	1			
小計(21科目)	-	21	0	0	7	0	6	2	0	兼9	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学教育科目	基礎ゼミナール(自然科学概論演習)	1前	1			1		5			兼6
	文章指導(日本語の表現)	1後	1								兼2
	人間と思想(哲学)	1後		2							兼1
	人間と思想(科学技術社会と倫理)	1前		2							兼1
	人間と思想(心理学)	1後		2							兼1
	人間と文化(医療の人類学)	1前		2							兼1
	人間と文化(医療社会史)	1前		2							兼1
	人間と社会(医療の法学)	1後		2							兼1
	人間と社会(医療の経済学)	1後		2							兼1
	英語 I(オーラル・イングリッシュA)	1前	1								兼2
	英語 I(オーラル・イングリッシュB)	1後	1								兼2
	英語 II(英語 IIA)	2前	1					1			
	英語 II(英語 IIB)	3前	1					1			
	英語 III(医療英語基礎)	4前	1			6		7			
	初修外国語(初級ドイツ語)	1前		1							兼1
	初修外国語(中級ドイツ語)	1後		1							兼1
	初修外国語(初級ロシア語)	1前		1							兼1
	初修外国語(中級ロシア語)	1後		1							兼1
	初修外国語(初級中国語)	1前		1							兼1
	初修外国語(中級中国語)	1後		1							兼1
	運動科学演習(運動科学演習)	1後	1								兼3
	情報科学(情報科学)	1後	2								兼1
	情報処理演習(医療情報処理演習)	1後	1								兼1
	統計学(基礎統計学)	1前	1					1			
	統計学(医療疫学統計学)	4前	2					1			
	物理学(物理学)	1前	2								兼1
化学(化学)	1前	2					1				
生物学(生命科学)	1前	2								兼1	
自然科学入門(基礎数学)	1前			1						兼1	
自然科学入門(基礎化学)	1前			1			1				
自然科学入門(基礎生物学)	1前			1	1			1			
多職種連携(多職種連携入門)	1前	2			1		2	1		兼26	
多職種連携 (医学連携地域包括ケア実習演習)	3前		2							兼14	
医療倫理(基礎医療倫理学)	1後	1						2	1	兼1	
小計(34科目)	-	23	22	3	6	0	8	1	0	兼58	
専門基礎科目	解剖学 I	1前	1			1					
	解剖学 II	1後	1			1		2			
	解剖学実習	2前	1			1		4			兼4
	生理学 I	1前	1			1					兼1
	生理学 II	1後	1			1					
	生理学実習	2前	1			1		2			
	生化学 I	1前	1			1					
	生化学 II	1後	1			1					
	生化学実習	2前	1			2		1			
	医学概論	1前	1			1					兼1
	病理学	1後	1			1					兼1
	薬理学	2後	1								兼1
	栄養学	2後	1								兼1
	臨床検査学入門 I	1前	1			3		6	2		
	臨床検査学入門 II	2前	1			1		3			
	公衆衛生学	1後	1								兼1
	公衆衛生学実習	2前	1			1		1			
関係法規	4前	1			2		1				
医療情報科学	3前	1					1			兼1	
医用工学概論	2前	1					1				
医用工学実習	2後	1					1	1			
小計(21科目)	-	21	0	0	7	0	6	2	0	兼10	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	臨床病態学Ⅰ	2前	1			1					兼1
	臨床病態学Ⅱ	2後	1			1					
	臨床病態学Ⅲ	2後	1			1					
	臨床検査医学総論演習	4前	1			1					
	臨床血液学Ⅰ	2前	1			1					
	臨床血液学Ⅱ	2後	1			1					
	臨床血液学実習	3前	2			2		1			兼1
	臨床血液学演習	4前	1			1		1			
	医療分子機能科学	4前		1		1					
	臨床病理検査学	2前	1					2			兼1
	臨床細胞診断学	2後	1					2			
	臨床細胞病理学実習	3前	2					2			
	臨床細胞病理学演習	4前	1					2			
	分子細胞病理学	4前		1				1			
	臨床化学Ⅰ	2前	1			1		1			
	臨床化学Ⅱ	2後	1			1		1			
	臨床化学実習	3前	2			2		1			
	臨床化学演習	4前	1			1		1			
	先進医療検査学	4前		1		1					
	臨床検査学総論Ⅰ	1後	1			1					
	臨床検査学総論Ⅱ	2前	1			1					
	臨床検査学総論実習	2後	2			2		1			兼1
	臨床検査学総論演習	4前	1			1					兼1
	核医学概論	2後	1								兼1
	遺伝子検査学	2前	1			1					
	遺伝子検査学実習	2後	1			1		1			
	遺伝子・染色体分析科学	4前		1		1					
	免疫検査学Ⅰ	2前	1			1					
	免疫検査学Ⅱ	2後	1			1					
	免疫検査学実習	3後	2			2		1			
	免疫検査学演習	4前	1			1					
	輸血・移植学演習	3後	1			1		1			
免疫細胞生物学	4前		1		1						
微生物学	2後	1			1		1				
臨床微生物学	3前	1			1		1			兼1	
微生物学実習	3後	2			1		1				
臨床微生物学演習	4前	1			1		1				
感染生物学	4前		1		1						
医動物学	2前	1			1						
医動物学演習	2後	1			1		1				
食品衛生学 ※1	4前		1							兼1	
臨床生理学Ⅰ	2前	1			1						
臨床生理学Ⅱ	2後	1					1			兼1	
臨床生理学実習	3前	2			1		2				
画像検査学	3前	1					1				
画像検査学演習	3後	2					1				
臨床生理学演習	4前	1					1				
実践超音波検査学	4前		1				1				
検査機器学	1後	1			2		3	1			
基礎機器分析演習	1後	1			1		1			兼2	
臨床検査管理学	3前	1			1						
保健医療福祉演習	2前		1		4		2			兼4	
チーム医療・コミュニケーション演習	3後		1		3		3			兼2	
医療リスクマネジメント演習	3後		1		2		2			兼5	
総合臨床検査学演習Ⅰ	2後	1			8		7	2			
総合臨床検査学演習Ⅱ	4前	1			8		7	2			
総合臨床検査学演習Ⅲ	4後	4			8		7	2			
総合臨床検査技術演習	3後	1			8		7	2			
医療安全管理学演習	4前	1			2		1				
臨床実習	3後	7			1		1	2			
臨床検査研究セミナー	4通	6			8		7	2			
健康食品学 ※1、※2	4後			1	1		1				
小計(62科目)	—	72	11	1	8	0	7	2	0	兼20	
合計(116科目)	—	116	31	4	9	0	8	2	0	兼74	

卒業要件及び履修方法

全学教育科目29単位以上(うち必修23単位)、専門教育科目97単位以上(うち必修93単位)、合計126単位以上修得する。  
 (履修科目の登録の上限:46単位(年間))  
 ※1 食品衛生管理者・食品衛生監視員の任用資格を取得するために履修が必要。  
 ※2 健康食品管理士の受験資格を取得するために履修が必要。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	臨床病態学Ⅰ	2前	1			1					兼1
	臨床病態学Ⅱ	2後	1			1					
	臨床病態学Ⅲ	2後	1			1					
	臨床検査医学総論演習	4前	1			1					
	臨床血液学Ⅰ	2前	1			1					
	臨床血液学Ⅱ	2後	1			1					
	臨床血液学実習	3前	2			2		1			兼1
	臨床血液学演習	4前	1			1		1			
	医療分子機能科学	4前		1		1					
	臨床病理検査学	2前	1					2			兼1
	臨床細胞診断学	2後	1					2			
	臨床細胞病理学実習	3前	2					2			
	臨床細胞病理学演習	4前	1					2			
	分子細胞病理学	4前		1				1			
	臨床化学Ⅰ	2前	1			1		1			
	臨床化学Ⅱ	2後	1			1		1			
	臨床化学実習	3前	2			2		1			
	臨床化学演習	4前	1			1		1			
	先進医療検査学	4前		1		1					
	臨床検査学総論Ⅰ	1後	1			1					
	臨床検査学総論Ⅱ	2前	1			1					兼1
	臨床検査学総論実習	2後	2			2		2	1		兼1
	臨床検査学総論演習	4前	1			1					兼1
	核医学概論	2後	1								兼1
	遺伝子検査学	2前	1			1					
	遺伝子検査学実習	2後	1			1		1	1		
	遺伝子・染色体分析科学	4前		1		1					
	免疫検査学Ⅰ	2前	1			1					
	免疫検査学Ⅱ	2後	1			1					
	免疫検査学実習	3後	2			2		2	1		
	免疫検査学演習	4前	1			1					
	輸血・移植学演習	3後	1			1		1	1		
免疫細胞生物学	4前		1		1						
微生物学	2後	1			1		1				
臨床微生物学	3前	1			1		1	1		兼1	
微生物学実習	3後	2			1		1	1			
臨床微生物学演習	4前	1			1		1	1			
感染生物学	4前		1		1						
医動物学	2前	1			1						
医動物学演習	2後	1			1		1	1			
食品衛生学 ※1	4前		1							兼1	
臨床生理学Ⅰ	2前	1			1						
臨床生理学Ⅱ	2後	1					1			兼1	
臨床生理学実習	3前	2			1		1				
画像検査学	3前	1					1				
画像検査学演習	3後	2					1				
臨床生理学演習	4前	1					1				
実践超音波検査学	4前		1				1				
検査機器学	1後	1			2		3	3	1		
基礎機器分析演習	1後	1			1		1			兼2	
臨床検査管理学	3前	1			1						
保健医療福祉演習	2前		1		4		2			兼5	
チーム医療・コミュニケーション演習	3後		1		3		3			兼2	
医療リスクマネジメント演習	3後		1		2		2			兼4	
総合臨床検査学演習Ⅰ	2後	1			8		7	2			
総合臨床検査学演習Ⅱ	4前	1			8		7	2			
総合臨床検査学演習Ⅲ	4後	4			8		7	2			
総合臨床検査技術演習	3後	1			8		7	2			
医療安全管理学演習	4前	1			2		1				
臨床実習	3後	7			1		1	2			
臨床検査研究セミナー	4通	6			8		7	2			
健康食品学 ※1、※2	4後			1	1		1				
小計(62科目)	—	72	11	1	8	0	7	2	0	兼22	
合計(117科目)	—	116	33	4	9	0	8	2	0	兼90	

卒業要件及び履修方法

全学教育科目29単位以上(うち必修23単位)、専門教育科目97単位以上(うち必修93単位)、合計126単位以上修得する。  
 (履修科目の登録の上限:46単位(年間))  
 ※1 食品衛生管理者・食品衛生監視員の任用資格を取得するために履修が必要。  
 ※2 健康食品管理士の受験資格を取得するために履修が必要。

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和元年度】**

専門基礎科目 病理学の担当講師が兼任講師を辞退したことにより、専任教員が当該科目を担当することとなったため、兼任・兼任数が1減となった。

**【令和2年度】**

- ・「多職種連携（多職種連携入門）」 科目担当者の変更により、兼任講師数の変更 兼任30名→兼任26名
- ・「多職種連携（全学連携地域包括ケア実践演習）」科目の新規開設により、兼任14名の追加
- ・「文章指導（日本語の表現）」 科目担当者の追加により、兼任1名→兼任2名
- ・「運動科学演習（運動科学演習）」 科目担当者の退職により、兼任1名→兼任3名
- ・「解剖学実習」 科目担当者の所属変更により、兼任3名→兼任4名
- ・「臨床検査学総論Ⅱ」 非常勤講師の追加により、兼任0名→兼任1名
- ・「臨床生理学Ⅱ」 科目担当者の追加により、兼任0名→兼任1名
- ・「保健医療福祉演習」 科目担当者の追加により、兼任4名→兼任5名
- ・「医療リスクマネジメント演習」 科目担当者の退職により、兼任5名→兼任4名

**【令和3年度】**

- ・専任教員1名に職位変更があったため、下記の科目について、「専任教員等の配置」変更  
 【対象】鈴木喜一 講師→准教授（R3.2.16にて判定結果あり）  
 「基礎ゼミナール（自然科学概論演習）」  
 「化学（化学）」  
 「自然科学入門（基礎化学）」  
 「総合臨床検査学演習Ⅰ」「総合臨床検査学演習Ⅱ」「総合臨床検査学演習Ⅲ」  
 「総合臨床検査技術演習」「臨床検査研究セミナー」
- ・「解剖学実習」 科目担当者の削除により、兼任4名→兼任3名
- ・「生化学Ⅰ」「生化学Ⅱ」 科目担当者の追加により、兼任0名→兼任1名
- ・「医学概論」 科目担当者の追加により、兼任1名→兼任4名
- ・「臨床病態学Ⅲ」 科目担当者の追加により、専任教員（教授）1名→専任教員（教授2名）
- ・「臨床生理学実習」 科目担当者および非常勤講師の追加により、兼任0名→兼任2名
- ・「医療リスクマネジメント演習」 科目担当者の追加により、兼任4名→兼任5名

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
88 科目	24 科目	4 科目	116 科目	88 科 [ 0 ]	25 科目 [ 1 ]	4 科目 [ 0 ]	117 科目 [ 1 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{116} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	北海道医療大学歯学部 附属歯科衛生士専門学校と共用 収容定員：150名		
	校舎敷地	70,862.63㎡	1,650.00㎡	0㎡	72,512.63㎡			
	運動場用地	27,800.00㎡	0㎡	0㎡	27,800.00㎡			
	小 計	98,662.63㎡	1,650.00㎡	0㎡	100,312.63㎡			
	そ の 他	57,315.74㎡	0㎡	0㎡	57,315.74㎡			
	合 計	155,978.37㎡	1,650.00㎡	0㎡	157,628.37㎡			
(2) 校舎		専 用 73,894.84㎡ ( 74,456.14㎡)	共 用 0㎡ ( 0㎡)	共用する他の学校等の専用 0㎡ ( 0㎡)	計 73,894.84㎡ ( 74,456.14㎡)			
(3) 教室等	講義室	48室	演習室 53室 62室	実験実習室 69室 60室	情報処理学習施設 1室 (補助職員 0人)	語学学習施設 2室 1室 (補助職員 0人)	大学全体 平成31年4月リベリテーション 科学部演習室を実習室に変更(元) 誤植による修正(3)	
	専任教員研究室	新設学部等の名称 医療技術学部 臨床検査学科			室 数 16 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位では特定不能なため、大学全体の数を記載。 図書には電子ブックを含む。 図書、学術雑誌は実績に基づく変更(2) 図書、学術雑誌、視聴覚資料は実績に基づく変更(3)
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕					
	医療技術学部	383,454 [216,659] (438,631 [271,864]) (423,391 [257,373]) (393,210 [227,890])	2,419 [1,199] (2,393 [1,191]) (2,399 [1,195]) (2,401 [1,196])	8,140 [6,367] (8,805 [7,280]) (8,807 [7,325]) (8,718 [7,348])	6,687 6,604 6,605	77,511 (77,511)	2,185 (2,185)	
	計	383,454 [216,659] (438,631 [271,864]) (423,391 [257,373]) (393,210 [227,890])	2,419 [1,199] (2,393 [1,191]) (2,399 [1,195]) (2,401 [1,196])	8,140 [6,367] (8,805 [7,280]) (8,807 [7,325]) (8,718 [7,348])	6,687 6,604 6,605	77,511 (77,511)	2,185 (2,185)	
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		閲覧席を増設(元)	
	4,866.96 ㎡		489 487席		256,222 冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	1,746.49 ㎡		屋外野球場・サッカー/ラグビー場・テニスコート (27,800㎡)					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	307千円	307千円	図書購入費	1,993千円	1,400千円	0千円
		共同研究費等	18,000千円	18,000千円	設備購入費	160,260千円	89,569千円	0千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,450千円	1,450千円	1,450千円	1,450千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	北海道医療大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	1	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
薬学部											
薬学科	6	160	2年次 4 3年次 5	997	学士 (薬学)	1.04	1.11	—	平成18年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	平成31年度より編入学定員を2年次(4)、3年次(△5)
歯学部											
歯学科	6	80	—	480	学士 (歯学)	0.85	0.71	—	昭和53年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	
看護福祉学部											
看護学科	4	180	3年次 5	743	—	0.87	0.87	—	—	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	
臨床福祉学科	4	100	—	409	学士 (看護学)	1.17	1.19	—	平成5年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	看護学科における編入学は令和3年度より募集停止
	4	80	3年次 5	334	学士 (臨床福祉学)	0.51	0.48	—	平成14年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	臨床福祉学科令和3年度より編入学定員を(△4)
心理科学部											
臨床心理学科	4	75	—	302	学士 (臨床心理学)	0.92	0.88	—	平成14年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	臨床心理学科における編入学は令和3年度より募集停止
言語聴覚療法学科	4	—	—	—	学士 (言語聴覚療法)	—	—	—	平成14年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	平成27年度より学生募集停止令和2年9月30日廃止
リハビリテーション科学部											
理学療法学科	4	180	—	750	—	1.11	1.10	—	—	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	理学療法学科における編入学は令和3年度より募集停止
作業療法学科	4	80	—	330	学士 (理学療法)	1.17	1.23	—	平成25年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	作業療法学科における編入学は令和3年度より募集停止
言語聴覚療法学科	4	40	—	170	学士 (作業療法)	1.16	1.10	—	平成25年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	言語聴覚療法学科における編入学は令和3年度より募集停止
	4	60	—	250	学士 (言語聴覚療法)	0.99	0.91	—	平成27年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	
医療技術学部											
臨床検査学科	4	60	—	240	学士 (臨床検査)	1.14	1.03	—	平成31年度	北海道札幌市北区あいの里2条5丁目	
大学全体	—	735	—	3,512	—	—	—	—	—	—	—
薬学研究科											
生命薬科学専攻修士課程	2	3	—	6	修士 (生命薬科学)	0.00	0.00	—	平成22年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	
薬学専攻博士後期課程(4年)	4	3	—	12	博士 (薬学)	0.99	0.66	—	平成24年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	
歯学研究科											
歯学専攻博士課程	4	18	—	72	博士 (歯学)	0.55	0.50	—	昭和63年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	
看護福祉学研究科											
看護学専攻修士課程	2	15	—	30	修士 (看護学)	0.73	0.80	—	平成9年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	
看護学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (看護学)	0.16	0.00	—	平成11年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	
臨床福祉学専攻修士課程	2	5	—	10	修士 (臨床福祉学)	0.10	0.00	—	平成16年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	
臨床福祉学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (臨床福祉学)	0.16	0.00	—	平成16年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	
心理科学研究科											
臨床心理学専攻修士課程	2	20	—	40	修士 (臨床心理学)	0.85	1.00	—	平成16年度	北海道札幌市北区あいの里2条5丁目	平成30年度入学定員増10名
臨床心理学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (臨床心理学)	0.50	1.00	—	平成16年度	北海道札幌市北区あいの里2条5丁目	
リハビリテーション科学研究科											
リハビリテーション科学専攻修士課程	2	5	—	10	修士 (リハビリテーション科学)	1.40	1.20	—	平成25年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	
リハビリテーション科学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (リハビリテーション科学)	0.83	0.50	—	平成27年度	北海道石狩郡当別町字金沢1757番地	
大学院全体	—	77	—	204	—	—	—	—	—	—	—

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください  
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。







【認可時又は届出時】

【令和元年度】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専任	講師	高橋 祐司 (35) <平成31年4月> 博士(保健科学)	高橋 祐司 (35) <平成31年4月> 博士(保健科学)	高橋 祐司 (36) <平成31年4月> 博士(保健科学)	高橋 祐司 (37) <平成31年4月> 博士(保健科学)
		基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※ 英語I11(医療英語基礎)※ 多職種連携(多職種連携入門)※ 生化学実習 臨床検査学入門I※ 関係法規※ 医療情報科学※ 臨床化学I※ 臨床化学II※ 臨床化学実習※ 臨床化学演習※ 臨床検査学総論実習※ 遺伝子検査学実習 輸血・移植学演習※ 検査機器学※ 保健医療福祉演習※ ナール医療・モニタリング演習※ 総合臨床検査学演習I 総合臨床検査学演習II 総合臨床検査学演習III 総合臨床検査技術演習 臨床実習 臨床検査研究セミナー 健康食品学※	基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※ 英語I11(医療英語基礎)※ 多職種連携(多職種連携入門)※ 生化学実習 臨床検査学入門I※ 関係法規※ 医療情報科学※ 臨床化学I※ 臨床化学II※ 臨床化学実習※ 臨床化学演習※ 臨床検査学総論実習※ 遺伝子検査学実習 輸血・移植学演習※ 検査機器学※ 保健医療福祉演習※ ナール医療・モニタリング演習※ 総合臨床検査学演習I 総合臨床検査学演習II 総合臨床検査学演習III 総合臨床検査技術演習 臨床実習 臨床検査研究セミナー 健康食品学※	基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※ 英語I11(医療英語基礎)※ 多職種連携(多職種連携入門)※ 生化学実習 臨床検査学入門I※ 関係法規※ 医療情報科学※ 臨床化学I※ 臨床化学II※ 臨床化学実習※ 臨床化学演習※ 臨床検査学総論実習※ 遺伝子検査学実習 輸血・移植学演習※ 検査機器学※ 保健医療福祉演習※ ナール医療・モニタリング演習※ 総合臨床検査学演習I 総合臨床検査学演習II 総合臨床検査学演習III 総合臨床検査技術演習 臨床実習 臨床検査研究セミナー 健康食品学※	基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※ 英語I11(医療英語基礎)※ 多職種連携(多職種連携入門)※ 生化学実習 臨床検査学入門I※ 関係法規※ 医療情報科学※ 臨床化学I※ 臨床化学II※ 臨床化学実習※ 臨床化学演習※ 臨床検査学総論実習※ 遺伝子検査学実習 輸血・移植学演習※ 検査機器学※ 保健医療福祉演習※ ナール医療・モニタリング演習※ 総合臨床検査学演習I 総合臨床検査学演習II 総合臨床検査学演習III 総合臨床検査技術演習 臨床実習 臨床検査研究セミナー 健康食品学※
専任	講師	高橋 祐輔 (36) <平成31年4月> 博士(医学)	高橋 祐輔 (36) <平成31年4月> 博士(医学)	高橋 祐輔 (37) <平成31年4月> 博士(医学)	高橋 祐輔 (38) <平成31年4月> 博士(医学)
		基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※ 英語I11(医療英語基礎)※ 解剖学実習※ 臨床検査学入門I※ 臨床検査学入門II※ 臨床血液学実習※ 臨床血液学演習※ 免疫検査学実習 検査機器学※ 保健医療福祉演習※ 総合臨床検査学演習I 総合臨床検査学演習II 総合臨床検査学演習III 総合臨床検査技術演習 医療安全管理学演習※ 臨床検査研究セミナー	基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※ 英語I11(医療英語基礎)※ 解剖学実習※ 臨床検査学入門I※ 臨床検査学入門II※ 臨床血液学実習※ 臨床血液学演習※ 免疫検査学実習 検査機器学※ 保健医療福祉演習※ 総合臨床検査学演習I 総合臨床検査学演習II 総合臨床検査学演習III 総合臨床検査技術演習 医療安全管理学演習※ 臨床検査研究セミナー	基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※ 英語I11(医療英語基礎)※ 解剖学実習※ 臨床検査学入門I※ 臨床検査学入門II※ 臨床血液学実習※ 臨床血液学演習※ 免疫検査学実習 検査機器学※ 保健医療福祉演習※ 総合臨床検査学演習I 総合臨床検査学演習II 総合臨床検査学演習III 総合臨床検査技術演習 医療安全管理学演習※ 臨床検査研究セミナー	基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※ 英語I11(医療英語基礎)※ 解剖学実習※ 臨床検査学入門I※ 臨床検査学入門II※ 臨床血液学実習※ 臨床血液学演習※ 免疫検査学実習 検査機器学※ 保健医療福祉演習※ 総合臨床検査学演習I 総合臨床検査学演習II 総合臨床検査学演習III 総合臨床検査技術演習 医療安全管理学演習※ 臨床検査研究セミナー
専任	助教	沖野 久美子 (41) <平成31年4月> 短期大学士	沖野 久美子 (41) <平成31年4月> 短期大学士	沖野 久美子 (42) <平成31年4月> 短期大学士	沖野 久美子 (43) <平成31年4月> 短期大学士
		多職種連携(多職種連携入門)※ 生理学実習 臨床検査学入門I※ 臨床生理学実習 画像検査学 画像検査学演習 臨床生理学演習 実践超音波検査学 医療リスクマネジメント演習※ 総合臨床検査学演習I 総合臨床検査学演習II 総合臨床検査学演習III 総合臨床検査技術演習 臨床実習 臨床検査研究セミナー	多職種連携(多職種連携入門)※ 生理学実習 臨床検査学入門I※ 臨床生理学実習 画像検査学 画像検査学演習 臨床生理学演習 実践超音波検査学 医療リスクマネジメント演習※ 総合臨床検査学演習I 総合臨床検査学演習II 総合臨床検査学演習III 総合臨床検査技術演習 臨床実習 臨床検査研究セミナー	多職種連携(多職種連携入門)※ 生理学実習 臨床検査学入門I※ 臨床生理学実習 画像検査学 画像検査学演習 臨床生理学演習 実践超音波検査学 医療リスクマネジメント演習※ 総合臨床検査学演習I 総合臨床検査学演習II 総合臨床検査学演習III 総合臨床検査技術演習 臨床実習 臨床検査研究セミナー	多職種連携(多職種連携入門)※ 生理学実習 臨床検査学入門I※ 臨床生理学実習 画像検査学 画像検査学演習 臨床生理学演習 実践超音波検査学 医療リスクマネジメント演習※ 総合臨床検査学演習I 総合臨床検査学演習II 総合臨床検査学演習III 総合臨床検査技術演習 臨床実習 臨床検査研究セミナー
兼任	学長	浅香 正博 (71) <平成31年4月> 博士(医学)	浅香 正博 (71) <平成31年4月> 博士(医学)	浅香 正博 (72) <平成31年4月> 博士(医学)	浅香 正博 (73) <平成31年4月> 博士(医学)
		医学概論	医学概論	医学概論	医学概論
兼任	教授	安部 博史 (45) <平成31年4月> 博士(心理学)	安部 博史 (45) <平成31年4月> 博士(心理学)	安部 博史 (46) <平成31年4月> 博士(心理学)	安部 博史 (47) <平成31年4月> 博士(心理学)
		多職種連携(多職種連携入門)※ 人間と思想(心理学)	多職種連携(多職種連携入門)※ 人間と思想(心理学)	多職種連携(多職種連携入門)※ <b>多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※</b> 人間と思想(心理学)	多職種連携(多職種連携入門)※ <b>多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※</b> 人間と思想(心理学)
兼任	教授	荒川 俊哉 (56) <平成31年4月> 博士(栄養学)	荒川 俊哉 (56) <平成31年4月> 博士(栄養学)	荒川 俊哉 (57) <平成31年4月> 博士(栄養学)	荒川 俊哉 (58) <平成31年4月> 博士(栄養学)
		多職種連携(多職種連携入門)※ 栄養学	多職種連携(多職種連携入門)※ 栄養学	多職種連携(多職種連携入門)※ 栄養学	多職種連携(多職種連携入門)※ 栄養学
兼任	教授	飯塚 健治 (59) <平成31年4月> 博士(医学)			
		病理学※			

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	教授	泉 唯史 (63) <平成31年4月> 学士(理学)	泉 唯史 (63) <平成31年4月> 学士(理学)		
		多職種連携(多職種連携入門)※	多職種連携(多職種連携入門)※		
				兼任	教授
					今井 智子 (66) <令和2年4月> 博士(歯学)
					多職種連携(多職種連携入門)※
兼任	教授	入江 一元 (58) <平成32年4月> 博士(歯学)	入江 一元 (58) <平成32年4月> 博士(歯学)	兼任	教授
		臨床病理検査学※	臨床病理検査学※		入江 一元 (59) <平成32年4月> 博士(歯学)
					解剖学実習※ 臨床病理検査学※
				兼任	助教
					岩本 理恵 (38) <令和3年4月> 博士(歯学)
					医療リスクマネジメント演習
				兼任	講師
					菊地 実 (54) <令和3年4月> 博士(医学)
					画像検査学演習
				兼任	教授
					笠師 久美子 (61) <令和2年4月> 博士(歯学)
					多職種連携(多職種連携入門)※
				兼任	助教
					北川 孝雄 (42) <令和3年4月> 博士(工学)
					生化学Ⅰ 生化学Ⅱ
兼任	教授	越野 寿 (58) <平成31年4月> 博士(歯学)	越野 寿 (58) <平成31年4月> 博士(歯学)	兼任	教授
		多職種連携(多職種連携入門)※	多職種連携(多職種連携入門)※		越野 寿 (60) <平成31年4月> 博士(歯学)
					多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※
兼任	教授	斎藤 隆史 (54) <平成31年4月> 博士(歯学)			
		多職種連携(多職種連携入門)※			
			兼任	教授	
					古市 保志 (60) <平成31年4月> 博士(歯学)
					多職種連携(多職種連携入門)※
兼任	教授	齊藤 正人 (52) <平成31年4月> 博士(歯学)	齊藤 正人 (52) <平成31年4月> 博士(歯学)		
		多職種連携(多職種連携入門)※	多職種連携(多職種連携入門)※		
				兼任	教授
					小島 悟 (51) <令和3年4月> 博士(医学)
					医学概論
				兼任	講師
					小林 健史 (49) <令和3年4月> 修士(教育学)
					多職種連携(多職種連携入門)※
				兼任	講師
					西郷 達雄 (36) <令和3年4月> 博士(医学)
					多職種連携(多職種連携入門)※
				兼任	助教
					辻村 礼央奈 (30) <令和3年4月> 学士(言語聴覚療法)
					多職種連携(多職種連携入門)※

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	教授	志水 幸 (55) <平成32年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	教授	志水 幸 (55) <平成32年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	教授	志水 幸 (56) <平成32年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	教授	志水 幸 (57) <平成32年4月> 修士(社会福祉学)
	保健医療福祉演習※			保健医療福祉演習※			保健医療福祉演習※			保健医療福祉演習※	
兼任	教授	鈴木 一郎 (53) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	教授	鈴木 一郎 (53) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	教授	鈴木 一郎 (54) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	教授	鈴木 一郎 (55) <平成31年4月> 博士(理学)
	基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※			基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※			基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※			基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※	
兼任	教授	竹生 礼子 (59) <平成31年4月> 博士(看護学)	兼任	教授	竹生 礼子 (59) <平成31年4月> 博士(看護学)	兼任	教授	竹生 礼子 (60) <平成31年4月> 博士(看護学)	兼任	教授	竹生 礼子 (61) <平成31年4月> 博士(看護学)
	多職種連携(多職種連携入門)※ チーム医療・コミュニケーション演習※			多職種連携(多職種連携入門)※ チーム医療・コミュニケーション演習※			多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※ チーム医療・コミュニケーション演習※			多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※ チーム医療・コミュニケーション演習※	
兼任	教授	照光 真 (58) <平成33年4月> 博士(歯学)	兼任	教授	照光 真 (58) <平成33年4月> 博士(歯学)	兼任	教授	照光 真 (59) <令和3年4月> 博士(歯学)	兼任	教授	照光 真 (60) <令和3年4月> 博士(歯学)
	医療リスクマネジメント演習※			医療リスクマネジメント演習※			医療リスクマネジメント演習※			医療リスクマネジメント演習※	
兼任	教授	中野 倫仁 (61) <平成31年4月> 博士(医学)	兼任	教授	中野 倫仁 (61) <平成31年4月> 博士(医学)						
	多職種連携(多職種連携入門)※			多職種連携(多職種連携入門)※							
									兼任	教授	富家 直明 (51) <令和3年4月> 博士(障害科学)
											医学概論
						兼任	教授	永島 裕樹 (54) <令和2年4月> 博士(歯学)	兼任	教授	永島 裕樹 (55) <令和2年4月> 博士(歯学)
							多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※				多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※
兼任	教授	二瓶 裕之 (53) <平成31年4月> 博士(工学)	兼任	教授	二瓶 裕之 (54) <平成31年4月> 博士(工学)	兼任	教授	二瓶 裕之 (55) <平成31年4月> 博士(工学)	兼任	教授	二瓶 裕之 (56) <平成31年4月> 博士(工学)
	情報科学(情報科学) 情報処理演習(情報処理演習)			情報科学(情報科学) 情報処理演習(情報処理演習)			情報科学(情報科学) 情報処理演習(情報処理演習)			情報科学(情報科学) 情報処理演習(情報処理演習)	
兼任	教授	花淵 馨也 (52) <平成31年4月> 博士(社会学)	兼任	教授	花淵 馨也 (52) <平成31年4月> 博士(社会学)	兼任	教授	花淵 馨也 (53) <平成31年4月> 博士(社会学)	兼任	教授	花淵 馨也 (54) <平成31年4月> 博士(社会学)
	人間と文化(医療の人類学) 多職種連携(多職種連携入門)※			人間と文化(医療の人類学) 多職種連携(多職種連携入門)※			人間と文化(医療の人類学) 多職種連携(多職種連携入門)※			人間と文化(医療の人類学) 多職種連携(多職種連携入門)※	
									兼任	講師	林 純美 (66) <令和3年4月> 専修学校卒
											臨床生理学実習
兼任	教授	Howard Tarnoff (66) <平成31年4月> 修士(社会福祉学)	兼任	教授	Howard Tarnoff (66) <平成31年4月> 修士(社会福祉学)						
	英語 I (オーラル・イングリッシュA) 英語 I (オーラル・イングリッシュB)			英語 I (オーラル・イングリッシュA) 英語 I (オーラル・イングリッシュB)					兼任	講師	Shaun Hoggard (46) <令和2年4月> 博士(言語学)
							Shaun Hoggard (45) <令和2年4月> 博士(言語学)				英語 I (オーラル・イングリッシュA) 英語 I (オーラル・イングリッシュB)
兼任	教授	平 典子 (65) <平成31年4月> 博士(看護学)									
	多職種連携(多職種連携入門)※										
			兼任	教授	三國 久美 (58) <平成31年4月> 博士(看護学)						
				多職種連携(多職種連携入門)※							
兼任	教授	向谷地 生良 (63) <平成32年4月> 学士(社会福祉学)	兼任	教授	向谷地 生良 (63) <平成32年4月> 学士(社会福祉学)	兼任	教授	向谷地 生良 (64) <令和2年4月> 学士(社会福祉学)	兼任	教授	向谷地 生良 (65) <令和2年4月> 学士(社会福祉学)
	保健医療福祉演習※			保健医療福祉演習※			保健医療福祉演習※			保健医療福祉演習※	

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	村井 毅 (52) <平成31年4月> 博士(薬学)	兼任	教授	村井 毅 (52) <平成31年4月> 博士(薬学)	兼任	教授	村井 毅 (53) <平成31年4月> 博士(薬学)	兼任	教授	村井 毅 (54) <平成31年4月> 博士(薬学)
		基礎機器分析演習※			基礎機器分析演習※			基礎機器分析演習※			基礎機器分析演習※
兼任	教授	森田 勲 (64) <平成31年4月> 博士(教育学)	兼任	教授	森田 勲 (64) <平成31年4月> 博士(教育学)						
		運動科学演習(運動科学演習)			運動科学演習(運動科学演習)						
						兼任	教授	山口 明彦 (57) <令和2年4月> 博士(体育科学)	兼任	教授	山口 明彦 (58) <令和2年4月> 博士(体育科学)
								運動科学演習(運動科学演習)			運動科学演習(運動科学演習)
						兼任	講師	井上 恒志郎 (34) <令和2年4月> 博士(体育科学)	兼任	講師	井上 恒志郎 (35) <令和2年4月> 博士(体育科学)
								運動科学演習(運動科学演習)			運動科学演習(運動科学演習)
						兼任	助教	福家 健宗 (27) <令和2年4月> 博士(体育科学)	兼任	助教	福家 健宗 (28) <令和2年4月> 博士(体育科学)
								運動科学演習(運動科学演習)			運動科学演習(運動科学演習)
兼任	教授	和田 啓爾 (66) <平成31年4月> 博士(薬学)	兼任	教授	和田 啓爾 (66) 高 <平成31年4月> 博士(薬学)	兼任	教授	和田 啓爾 (67) 高 <平成31年4月> 博士(薬学)	兼任	教授	和田 啓爾 (68) 高 <平成31年4月> 博士(薬学)
		多職種連携(多職種連携入門)※ 公衆衛生学 食品衛生学			多職種連携(多職種連携入門)※ 公衆衛生学 食品衛生学			公衆衛生学 食品衛生学			公衆衛生学 食品衛生学
兼任	教授	安彦 善裕 (58) <平成32年4月> 博士(歯学)	兼任	教授	安彦 善裕 (58) <平成32年4月> 博士(歯学)	兼任	教授	安彦 善裕 (59) <令和2年4月> 博士(歯学)			
		解剖学実習※			解剖学実習※			解剖学実習※			
兼任	准教授	萩野(竹内)悦子 (54) <平成32年4月> 修士(看護学)	兼任	准教授	萩野(竹内)悦子 (55) <平成32年4月> 修士(看護学)						
		保健医療福祉演習※			保健医療福祉演習※						
						兼任	教授	山田 隼子 (53) <令和2年4月> 博士(看護学)	兼任	教授	山田 隼子 (54) <令和2年4月> 博士(看護学)
								保健医療福祉演習※			保健医療福祉演習※
						兼任	教授	本家 寿洋 (52) <令和2年4月> 博士(作業療法)	兼任	教授	本家 寿洋 (53) <令和2年4月> 博士(作業療法)
								多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※			多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※
兼任	准教授	河合 祐子 (62) <平成33年4月> 文学修士 Master of Arts (米国)	兼任	准教授	河合 祐子 (63) <平成33年4月> 文学修士 Master of Arts (米国)	兼任	准教授	河合 祐子 (64) <令和3年4月> 文学修士 Master of Arts (米国)	兼任	准教授	河合 祐子 (65) <令和3年4月> 文学修士 Master of Arts (米国)
		チーム医療・コミュニケーション演習※			チーム医療・コミュニケーション演習※			チーム医療・コミュニケーション演習※			チーム医療・コミュニケーション演習※
兼任	准教授	北浦 廣剛 (51) <平成32年4月> 博士(薬学)	兼任	准教授	北浦 廣剛 (51) <平成32年4月> 博士(薬学)	兼任	准教授	北浦 廣剛 (52) <令和2年4月> 博士(薬学)	兼任	准教授	北浦 廣剛 (53) <令和2年4月> 博士(薬学)
		核医学概論			核医学概論			核医学概論			核医学概論
兼任	准教授	近藤(木村)朋子 (48) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	近藤(木村)朋子 (48) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	近藤(木村)朋子 (49) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	近藤(木村)朋子 (50) <平成31年4月> 博士(理学)
		基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※ 生物学(生命科学)			基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※ 生物学(生命科学)			基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※ 生物学(生命科学)			基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※ 生物学(生命科学)
兼任	准教授	櫻井 潤 (41) <平成31年4月> 博士(経済学)	兼任	准教授	櫻井 潤 (41) <平成31年4月> 博士(経済学)						
		人間と社会(医療の経済学)			人間と社会(医療の経済学)						
						兼任	講師	金盛 直茂 (40) <令和2年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	金盛 直茂 (41) <令和2年4月> 博士(経済学)
								人間と社会(医療の経済学)			人間と社会(医療の経済学)

【認可時又は届出時】			【令和元年度】			【令和2年度】			【令和3年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
兼任	准教授	千葉 芳広 (51) <平成31年4月> 博士(経済学) 人間と文化(医療社会史)	兼任	准教授	千葉 芳広 (51) <平成31年4月> 博士(経済学) 人間と文化(医療社会史)						
						兼任	講師	保岡 啓子 (59) <令和2年4月> 博士(文学) 人間と文化(医療社会史)	兼任	講師	保岡 啓子 (60) <令和2年4月> 博士(文学) 人間と文化(医療社会史)
兼任	准教授	新岡 文治 (43) <平成31年4月> 博士(薬学) 基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※	兼任	准教授	新岡 文治 (43) <平成31年4月> 博士(薬学) 基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※	兼任	准教授	新岡 文治 (44) <平成31年4月> 博士(薬学) 基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※	兼任	准教授	新岡 文治 (45) <平成31年4月> 博士(薬学) 基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※
兼任	准教授	長谷川 敦司 (55) <平成31年4月> 博士(理学) 物理学	兼任	教授	長谷川 敦司 (55) <平成31年4月> 博士(理学) 物理学	兼任	教授	長谷川 敦司 (56) <平成31年4月> 博士(理学) 物理学	兼任	教授	長谷川 敦司 (57) <平成31年4月> 博士(理学) 物理学
兼任	准教授	長谷川 聡 (63) <平成31年4月> 修士(文学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	准教授	長谷川 聡 (63) <平成31年4月> 修士(文学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	准教授	長谷川 聡 (64) <平成31年4月> 修士(文学) 多職種連携(多職種連携入門)※			
									兼任	講師	近藤 尚也 (37) <令和3年4月> 修士(教育) 多職種連携(多職種連携入門)※
兼任	准教授	浜上 尚也 (55) <平成31年4月> 博士(薬学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	准教授	浜上 尚也 (55) <平成31年4月> 博士(薬学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	准教授	浜上 尚也 (56) <平成31年4月> 博士(薬学) 多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※	兼任	教授	浜上 尚也 (57) <平成31年4月> 博士(薬学) 多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※
						兼任	准教授	巻 廣弘 (53) <令和2年4月> 修士(社会福祉学) 多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※	兼任	准教授	巻 廣弘 (54) <令和2年4月> 修士(社会福祉学) 多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※
兼任	准教授	本谷 亮 (38) <平成31年4月> 博士(臨床心理学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	准教授	本谷 亮 (38) <平成31年4月> 博士(臨床心理学) 多職種連携(多職種連携入門)※						
兼任	准教授	森 伸幸 (56) <平成31年4月> 修士(文学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	准教授	森 伸幸 (56) <平成31年4月> 修士(文学) 多職種連携(多職種連携入門)※						
兼任	准教授	坂上 哲可 (55) <平成31年4月> 修士(人間福祉学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	准教授	坂上 哲可 (55) <平成31年4月> 修士(人間福祉学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	准教授	坂上 哲可 (56) <平成31年4月> 修士(人間福祉学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	教授	坂上 哲可 (57) <平成31年4月> 修士(人間福祉学) 多職種連携(多職種連携入門)※
兼任	講師	浅野 葉子 (46) <平成31年4月> 修士(人間生活学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	講師	浅野 葉子 (47) <平成31年4月> 修士(人間生活学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	講師	浅野 葉子 (48) <平成31年4月> 修士(人間生活学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	講師	浅野 葉子 (49) <平成31年4月> 修士(人間生活学) 多職種連携(多職種連携入門)※
兼任	講師	磯部 太一 (39) <平成31年4月> 修士(学際情報学) 人間と思想(科学技術社会と倫理) 医療倫理(基礎医療倫理学)	兼任	講師	磯部 太一 (39) <平成31年4月> 修士(学際情報学) 人間と思想(科学技術社会と倫理) 医療倫理(基礎医療倫理学)	兼任	講師	磯部 太一 (40) <平成31年4月> 修士(学際情報学) 人間と思想(科学技術社会と倫理) 医療倫理(基礎医療倫理学)	兼任	講師	磯部 太一 (41) <平成31年4月> 修士(学際情報学) 人間と思想(科学技術社会と倫理) 医療倫理(基礎医療倫理学)
兼任	講師	井上 貴翔 (37) <平成31年4月> 博士(文学) 文章指導(日本語の表現)	兼任	講師	井上 貴翔 (37) <平成31年4月> 博士(文学) 文章指導(日本語の表現)	兼任	講師	井上 貴翔 (38) <平成31年4月> 博士(文学) 文章指導(日本語の表現)	兼任	講師	井上 貴翔 (39) <平成31年4月> 博士(文学) 文章指導(日本語の表現)

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	岩尾 一生 (46) <平成32年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	岩尾 一生 (46) <平成32年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	岩尾 一生 (47) <令和2年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	岩尾 一生 (48) <令和2年4月> 博士(薬学)
		薬理学			薬理学			多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※ 薬理学			多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※ 薬理学
兼任	講師	木村 治 (48) <平成31年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	木村 治 (48) <平成31年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	木村 治 (49) <平成31年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	木村 治 (50) <平成31年4月> 博士(薬学)
		多職種連携(多職種連携入門)※			多職種連携(多職種連携入門)※			多職種連携(多職種連携入門)※			多職種連携(多職種連携入門)※
兼任	講師	櫻田 渉 (52) <平成31年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	櫻田 渉 (52) <平成31年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	櫻田 渉 (53) <平成31年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	櫻田 渉 (54) <平成31年4月> 博士(薬学)
		多職種連携(多職種連携入門)※			多職種連携(多職種連携入門)※			多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※			多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※
兼任	講師	佐々木 祐二 (48) <平成31年4月> 修士(医科学)	兼任	講師	佐々木 祐二 (48) <平成31年4月> 修士(医科学)	兼任	講師	佐々木 祐二 (49) <平成31年4月> 修士(医科学)	兼任	講師	佐々木 祐二 (50) <平成31年4月> 修士(医科学)
		多職種連携(多職種連携入門)※			多職種連携(多職種連携入門)※			多職種連携(多職種連携入門)※			多職種連携(多職種連携入門)※
兼任	講師	澤田 篤史 (39) <平成31年4月> 修士(ｽﾏｰﾌﾞ科学)	兼任	講師	澤田 篤史 (40) <平成31年4月> 修士(ｽﾏｰﾌﾞ科学)	兼任	講師	澤田 篤史 (41) <平成31年4月> 修士(ｽﾏｰﾌﾞ科学)	兼任	講師	澤田 篤史 (42) <平成31年4月> 修士(ｽﾏｰﾌﾞ科学)
		多職種連携(多職種連携入門)※			多職種連携(多職種連携入門)※			多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※			多職種連携(多職種連携入門)※ 多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※
兼任	准教授	豊下 祥史 (45) <平成31年4月> 博士(歯学)	兼任	准教授	豊下 祥史 (45) <平成31年4月> 博士(歯学)	兼任	准教授	豊下 祥史 (46) <平成31年4月> 博士(歯学)	兼任	准教授	豊下 祥史 (47) <平成31年4月> 博士(歯学)
		多職種連携(多職種連携入門)※			多職種連携(多職種連携入門)※			多職種連携(多職種連携入門)※			多職種連携(多職種連携入門)※
兼任	講師	西出 真也 (42) <平成31年4月> 博士(歯学)	兼任	講師	西出 真也 (42) <平成31年4月> 博士(歯学)	兼任	講師	西出 真也 (43) <平成31年4月> 博士(歯学)	兼任	講師	西出 真也 (44) <平成31年4月> 博士(歯学)
		基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※			基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※			基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※			基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※
兼任	講師	原田 潤平 (42) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	講師	原田 潤平 (42) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	講師	原田 潤平 (43) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	講師	原田 潤平 (44) <平成31年4月> 博士(理学)
		基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※ 自然科学入門(基礎数学)			基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※ 自然科学入門(基礎数学)			基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※ 自然科学入門(基礎数学)			基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※ 自然科学入門(基礎数学)
兼任	講師	姫嶋 瑞穂 (42) <平成31年4月> 博士(法学)	兼任	講師	姫嶋 瑞穂 (42) <平成31年4月> 博士(法学)	兼任	講師	姫嶋 瑞穂 (43) <平成31年4月> 博士(法学)	兼任	講師	姫嶋 瑞穂 (44) <平成31年4月> 博士(法学)
		人間と社会(医療の法学)			人間と社会(医療の法学)			人間と社会(医療の法学)			人間と社会(医療の法学)
兼任	講師	堀内 正隆 (52) <平成31年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	堀内 正隆 (52) <平成31年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	堀内 正隆 (53) <平成31年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	堀内 正隆 (54) <平成31年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※			基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※			基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※			基礎ゼミナール (自然科学概論演習)※
兼任	講師	前田 秀彦 (49) <令和2年4月> 修士(言語聴覚学)	兼任	講師	前田 秀彦 (49) <令和2年4月> 修士(言語聴覚学)	兼任	講師	前田 秀彦 (49) <令和2年4月> 修士(言語聴覚学)	兼任	講師	前田 秀彦 (50) <令和2年4月> 修士(言語聴覚学)
		臨床生理学Ⅱ			臨床生理学Ⅱ			臨床生理学Ⅱ			臨床生理学Ⅱ 臨床生理学実習

【認可時又は届出時】			【令和元年度】			【令和2年度】			【令和3年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	真島(高橋)理恵 (39) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	講師	真島(高橋)理恵 (39) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	講師	真島(高橋)理恵 (40) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	講師	真島(高橋)理恵 (41) ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 多職種連携(多職種連携入門)※
兼任	講師	森元 良太 (43) ＜平成31年4月＞ 博士(哲学) 人間と思想(哲学)	兼任	准教授	森元 良太 (43) ＜平成31年4月＞ 博士(哲学) 人間と思想(哲学)	兼任	准教授	森元 良太 (44) ＜平成31年4月＞ 博士(哲学) 人間と思想(哲学)	兼任	准教授	森元 良太 (45) ＜平成31年4月＞ 博士(哲学) 人間と思想(哲学)
兼任	講師	柳田 早織 (34) ＜平成31年4月＞ 修士(言語聴覚学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	講師	柳田 早織 (34) ＜平成31年4月＞ 博士(医学) 多職種連携(多職種連携入門)※						
兼任	講師	吉本 裕代 (44) ＜平成33年4月＞ 博士(歯学) 医療リスクマネジメント演習※	兼任	講師	吉本 裕代 (44) ＜平成33年4月＞ 博士(歯学) 医療リスクマネジメント演習※	兼任	講師	吉本 裕代 (45) ＜令和3年4月＞ 博士(歯学) 医療リスクマネジメント演習※	兼任	講師	吉本 裕代 (46) ＜令和3年4月＞ 博士(歯学) 医療リスクマネジメント演習※
兼任	助教	池森 康裕 (44) ＜平成33年4月＞ 修士(社会福祉学) 医療リスクマネジメント演習※	兼任	助教	池森 康裕 (44) ＜平成33年4月＞ 修士(社会福祉学) 医療リスクマネジメント演習※	兼任	講師	池森 康裕 (45) ＜令和3年4月＞ 修士(社会福祉学) 医療リスクマネジメント演習※	兼任	講師	池森 康裕 (46) ＜令和3年4月＞ 修士(社会福祉学) 医療リスクマネジメント演習※
						兼任	講師	山田 拓 (47) ＜令和2年4月＞ 修士(看護学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	講師	山田 拓 (48) ＜令和2年4月＞ 修士(看護学) 多職種連携(多職種連携入門)※
兼任	助教	大橋 華子 (47) ＜平成33年4月＞ 学士(歯学) 医療リスクマネジメント演習※	兼任	助教	大橋 華子 (47) ＜平成33年4月＞ 学士(歯学) 医療リスクマネジメント演習※	兼任	助教	大橋 華子 (48) ＜令和3年4月＞ 学士(歯学) 医療リスクマネジメント演習※	兼任	助教	大橋 華子 (49) ＜令和3年4月＞ 学士(歯学) 医療リスクマネジメント演習※
兼任	助教	金澤 香 (45) ＜平成33年4月＞ 博士(歯学) 医療リスクマネジメント演習※	兼任	助教	金澤 香 (45) ＜平成33年4月＞ 博士(歯学) 医療リスクマネジメント演習※						
兼任	助教	近藤 尚也 (35) ＜平成31年4月＞ 修士(教育学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	助教	近藤 尚也 (35) ＜平成31年4月＞ 修士(教育学) 多職種連携(多職種連携入門)※						
						兼任	助教	片山 寛信 (40) ＜令和2年4月＞ 修士(臨床福祉学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	助教	片山 寛信 (41) ＜令和2年4月＞ 修士(臨床福祉学) 多職種連携(多職種連携入門)※
兼任	助教	佐々木 隆浩 (36) ＜平成31年4月＞ 博士(環境科学) 基礎機器分析演習※	兼任	助教	佐々木 隆浩 (36) ＜平成31年4月＞ 博士(環境科学) 基礎機器分析演習※	兼任	助教	佐々木 隆浩 (37) ＜平成31年4月＞ 博士(環境科学) 基礎機器分析演習※	兼任	講師	佐々木 隆浩 (38) ＜平成31年4月＞ 博士(環境科学) 基礎機器分析演習※
兼任	助教	佐々木 みつほ (36) ＜平成31年4月＞ 博士(歯学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	助教	佐々木 みつほ (36) ＜平成31年4月＞ 博士(歯学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	助教	佐々木 みつほ (37) ＜平成31年4月＞ 博士(歯学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	助教	佐々木 みつほ (38) ＜平成31年4月＞ 博士(歯学) 多職種連携(多職種連携入門)※
兼任	助教	洪井 徹 (46) ＜平成32年4月＞ 博士(歯学) 解剖学実習※	兼任	助教	洪井 徹 (46) ＜平成32年4月＞ 博士(歯学) 解剖学実習※	兼任	助教	洪井 徹 (47) ＜令和2年4月＞ 博士(歯学) 解剖学実習※	兼任	助教	洪井 徹 (48) ＜令和2年4月＞ 博士(歯学) 解剖学実習※
兼任	助教	高橋 昌己 (40) ＜平成32年4月＞ 博士(歯学) 解剖学実習※	兼任	助教	高橋 昌己 (41) ＜平成32年4月＞ 博士(歯学) 解剖学実習※	兼任	助教	高橋 昌己 (42) ＜令和2年4月＞ 博士(歯学) 解剖学実習※	兼任	助教	高橋 昌己 (43) ＜令和2年4月＞ 博士(歯学) 解剖学実習※
						兼任	助教	関口 真有 (34) ＜令和2年4月＞ 博士(臨床心理学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	助教	関口 真有 (35) ＜令和2年4月＞ 博士(臨床心理学) 多職種連携(多職種連携入門)※

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
				兼担 助教 増田 悠佑 (42) <令和2年4月> 修士(看護学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼担 助教 増田 悠佑 (43) <令和2年4月> 修士(看護学) 多職種連携(多職種連携入門)※
				兼担 助教 福田 実奈 (29) <令和2年4月> 博士(心理学) 多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※	兼担 助教 福田 実奈 (30) <令和2年4月> 博士(心理学) 多職種連携 (全学連携地域包括ケア実践演習)※
				兼担 助教 山田 綾子 (34) <令和2年4月> 博士(文学) 文章指導(日本語の表現)	兼担 助教 山田 綾子 (35) <令和2年4月> 博士(文学) 文章指導(日本語の表現)
兼任	講師	赤坂 和美 (54) <平成32年4月> 博士(医学) 臨床病態学I※	兼任 講師 赤坂 和美 (54) <平成32年4月> 博士(医学) 臨床病態学I※	兼任 講師 赤坂 和美 (55) <令和2年4月> 博士(医学) 臨床病態学I※	兼任 講師 赤坂 和美 (56) <令和2年4月> 博士(医学) 臨床病態学I※
兼任	講師	阿部 和夫 (51) <平成31年4月> 修士(文学) 初修外国語(初級ドイツ語) 初修外国語(中級ドイツ語)	兼任 講師 阿部 和夫 (51) <平成31年4月> 修士(文学) 初修外国語(初級ドイツ語) 初修外国語(中級ドイツ語)	兼任 講師 阿部 和夫 (52) <平成31年4月> 修士(文学) 初修外国語(初級ドイツ語) 初修外国語(中級ドイツ語)	兼任 講師 阿部 和夫 (53) <平成31年4月> 修士(文学) 初修外国語(初級ドイツ語) 初修外国語(中級ドイツ語)
兼任	講師	遠藤 明美 (50) <平成33年4月> 専修学校卒 臨床血液学実習※	兼任 講師 遠藤 明美 (50) <平成33年4月> 専修学校卒 臨床血液学実習※	兼任 講師 遠藤 明美 (51) <令和3年4月> 専修学校卒 臨床血液学実習※	兼任 講師 遠藤 明美 (52) <令和3年4月> 専修学校卒 臨床血液学実習※
兼任	講師	太田 滋春 (42) <平成31年4月> 修士(臨床心理学)※ 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任 講師 太田 滋春 (43) <平成31年4月> 修士(臨床心理学)※ 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任 講師 太田 滋春 (44) <平成31年4月> 修士(臨床心理学)※ 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任 講師 太田 滋春 (45) <平成31年4月> 修士(臨床心理学)※ 多職種連携(多職種連携入門)※
兼任	講師	太田 惣 (51) <平成32年4月> 専門学校卒 臨床検査学総論実習※	兼任 講師 太田 惣 (51) <平成32年4月> 専門学校卒 臨床検査学総論実習※	兼任 講師 太田 惣 (52) <令和2年4月> 専門学校卒 臨床検査学総論実習※	兼任 講師 太田 惣 (53) <令和2年4月> 専門学校卒 臨床検査学総論実習※
兼任	講師	大原 裕介 (39) <平成31年4月> 修士(臨床福祉学) 多職種連携(多職種連携入門)※ 保健医療福祉演習※	兼任 講師 大原 裕介 (39) <平成31年4月> 修士(臨床福祉学) 多職種連携(多職種連携入門)※ 保健医療福祉演習※	兼任 講師 大原 裕介 (40) <平成31年4月> 修士(臨床福祉学) 多職種連携(多職種連携入門)※ 保健医療福祉演習※	兼任 講師 大原 裕介 (41) <平成31年4月> 修士(臨床福祉学) 多職種連携(多職種連携入門)※ 保健医療福祉演習※
兼任	講師	大柳 俊夫 (57) <平成33年4月> 博士(工学) 医療情報科学※	兼任 講師 大柳 俊夫 (57) <平成33年4月> 博士(工学) 医療情報科学※	兼任 講師 大柳 俊夫 (58) <令和3年4月> 博士(工学) 医療情報科学※	
兼任	講師	Sylwia Maria Olejarz (36) <平成31年4月> 博士(倫理学) ロシア語(初級ロシア語) ロシア語(中級ロシア語)	兼任 講師 Sylwia Maria Olejarz (36) <平成31年4月> 博士(倫理学) ロシア語(初級ロシア語) ロシア語(中級ロシア語)	兼任 講師 Sylwia Maria Olejarz (37) <平成31年4月> 博士(倫理学) ロシア語(初級ロシア語) ロシア語(中級ロシア語)	兼任 講師 Sylwia Maria Olejarz (38) <平成31年4月> 博士(倫理学) ロシア語(初級ロシア語) ロシア語(中級ロシア語)
兼任	講師	呉 秀娟 (39) <平成31年4月> 修士(文学) 中国語(初級中国語) 中国語(中級中国語)	兼任 講師 呉 秀娟 (39) <平成31年4月> 修士(文学) 中国語(初級中国語) 中国語(中級中国語)	兼任 講師 呉 秀娟 (40) <平成31年4月> 修士(文学) 中国語(初級中国語) 中国語(中級中国語)	兼任 講師 呉 秀娟 (41) <平成31年4月> 修士(文学) 中国語(初級中国語) 中国語(中級中国語)
兼任	講師	小西 力 (35) <平成31年4月> 学士(臨床福祉学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任 講師 小西 力 (35) <平成31年4月> 学士(臨床福祉学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任 講師 小西 力 (36) <平成31年4月> 学士(臨床福祉学) 多職種連携(多職種連携入門)※	
				兼任 講師 菅 正直 (45) <令和2年4月> 高等学校卒 保健医療福祉演習※	
					兼任 講師 石井 勝義 (56) <令和3年4月> 学士(福祉) 保健医療福祉演習※

【認可時又は届出時】			【令和元年度】			【令和2年度】			【令和3年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名									
兼任	講師	高草木 薫 (59) <平成31年4月> 博士(医学) 生理学Ⅰ※	兼任	講師	高草木 薫 (59) <平成31年4月> 博士(医学) 生理学Ⅰ※	兼任	講師	高草木 薫 (60) <平成31年4月> 博士(医学) 生理学Ⅰ※	兼任	講師	高草木 薫 (61) <平成31年4月> 博士(医学) 生理学Ⅰ※
兼任	講師	中梶 慎太郎 (37) <平成31年4月> 学士(医療福祉学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	講師	中梶 慎太郎 (37) <平成31年4月> 学士(医療福祉学) 多職種連携(多職種連携入門)※	兼任	講師	中梶 慎太郎 (38) <平成31年4月> 学士(医療福祉学) 多職種連携(多職種連携入門)※			
兼任	講師	福元 達也 (39) <平成33年4月> 博士(医学) 臨床微生物学※	兼任	講師	福元 達也 (40) <平成33年4月> 博士(医学) 臨床微生物学※	兼任	講師	福元 達也 (41) <b>&lt;令和3年4月&gt;</b> 博士(医学) 臨床微生物学※	兼任	講師	福元 達也 (42) <b>&lt;令和3年4月&gt;</b> 博士(医学) 臨床微生物学※
兼任	講師	Benjamin Cheng (37) <平成31年4月> BSc (Hons) Design Engineering (イングランド) 英語Ⅰ(オーラル・イングリッシュA) 英語Ⅰ(オーラル・イングリッシュB)	兼任	講師	Benjamin Cheng (37) <平成31年4月> BSc (Hons) Design Engineering (イングランド) 英語Ⅰ(オーラル・イングリッシュA) 英語Ⅰ(オーラル・イングリッシュB)	兼任	講師	Benjamin Cheng (38) <平成31年4月> BSc (Hons) Design Engineering (イングランド) 英語Ⅰ(オーラル・イングリッシュA) 英語Ⅰ(オーラル・イングリッシュB)	兼任	講師	Benjamin Cheng (39) <平成31年4月> BSc (Hons) Design Engineering (イングランド) 英語Ⅰ(オーラル・イングリッシュA) 英語Ⅰ(オーラル・イングリッシュB)
						兼任	講師	望月 真希 (41) <b>&lt;令和2年4月&gt;</b> 博士(医学) 臨床検査学総論Ⅱ	兼任	講師	望月 真希 (42) <b>&lt;令和2年4月&gt;</b> 博士(医学) 臨床検査学総論Ⅱ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・飯塚健治教授が兼任講師を辞退したことにより、専任教員の藏満保宏教授が当該科目を担当することに変更。
- ・斎藤隆史教授・平典子教授は、平成31年3月にて学部長ではなくなったため、新学部長である古市保志教授・三国久美教授と交替。  
(当該科目「多職種連携(多職種連携入門)」の最終コマは、各学部の学部長が担当することとなっている)

【令和2年度】

- ・「多職種連携(多職種連携入門)」における科目担当者の一部変更(削除: 泉 唯史、古市保志、齊藤正人、中野倫仁、三国久美  
追加: 今井智子、笠師久美子、福井純子、山田 拓、片山寛信、関口真有、増田悠佑  
科目削除: 和田啓爾)
- ・「多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習)」を開設(実際の開講は令和3年度から)したことによる科目担当者の追加(新規追加7名、科目の追加7名)
- ・退職による科目担当者の交替  
「英語Ⅰ(オーラル・イングリッシュⅠ・Ⅱ)」 Howard Tarnoff → Hoggard  
「運動科学演習(運動科学演習)」 森田 勲 → 山口明彦、井上恒志郎、福家健宗  
「保健医療福祉演習」 萩野悦子 → 山田律子  
「人間と社会(医療の経済学)」 櫻井 潤 → 金盛直茂  
「人間と文化(医療社会史)」 千葉芳広 → 保岡啓子  
「文章指導(日本語の表現)」 山田桃子  
「解剖学実習」 入江一元  
「臨床生理学Ⅱ」 前田秀彦  
「保健医療福祉演習」 菅 正恵  
「臨床検査学総論Ⅱ」 望月真希
- ・「医療リスクマネジメント演習」における科目担当者の一部削除(退職のため兼任1名削除: 金澤香)

【令和3年度】

- ・専任教員1名に職位変更があったため、下記の科目について、「専任教員等の配置」変更  
【対象】鈴木喜一 講師→准教授(R3.2.16にて教員審査済)  
「基礎ゼミナール(自然科学概論演習)」  
「化学(化学)」  
「自然科学入門(基礎化学)」  
「総合臨床検査学演習Ⅰ」「総合臨床検査学演習Ⅱ」「総合臨床検査学演習Ⅲ」  
「総合臨床検査技術演習」「臨床検査研究セミナー」
- ・「解剖学実習」 科目担当者の削除により、兼任4名→兼任3名
- ・「生化学Ⅰ」「生化学Ⅱ」 科目担当者の追加により、兼任0名→兼任1名
- ・「医学概論」 科目担当者の追加により、兼任1名→兼任4名
- ・「臨床病態学Ⅲ」 科目担当者の追加により、専任教員(教授)1名→専任教員(教授)2名
- ・「臨床生理学実習」 科目担当者および非常勤講師の追加により、兼任0名→兼任2名
- ・「医療リスクマネジメント演習」 科目担当者の追加により、兼任4名→兼任5名

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A/C教員審査)を受けてください。**A/C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(A/C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
14	7
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
9	0	8	2	19	0	9	1	7	2	19	0
(8)	(0)	(8)	(2)	(18)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
9	1	7	2	19	0	9	1	7	2	19	0
[ 0 ]	[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{19} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{19} = \boxed{10.52} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
		【該当なし】							
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		【該当なし】							
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE! 科目	必修	##### 科目	必修	##### 科目	必修	##### 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	##### 科目	選択	##### 科目	選択	##### 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	##### 科目	自由	##### 科目	自由	##### 科目
		計	#VALUE! 科目	計	##### 科目	計	##### 科目	計	##### 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{19} = 0 \%$$

(注) ・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		【該当なし】					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<大学の所見>  
 教員の退職などのやむを得ない理由による交代があり、一方で教育指導体制の充実や、効果的教員配置を考慮した変更など、必要に応じた交代も行っているが、年度の開始前に決定し、計画的に実施しているため学生の履修に影響はない。  
 <学生への周知方法>  
 基本的にはシラバスにより学生へ周知している。シラバス印刷後は、別刷りを配布し、周知を徹底している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時  (令和元年)	・学部の教育研究上の到達目標を示した箇所で、学生と教員の到達目標がそれぞれ併記されているが、教員の到達目標は学部の教育研究上の到達目標と別に整理することが適切と考えられるため、学生の到達目標に絞り記載することが望ましい。 (助言事項)	留意事項  ・記載についての助言を受け止め、学生の到達目標のみを記載すべきであったことを認識した。	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<医療技術学部 臨床検査学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	教務日程に変更はないが、新型コロナウイルス感染症のまん延防止対策により、第1学年・第2学年は、一部の科目をオンライン講義で実施。

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>全学FD委員会(全学組織) 医療技術学部FD委員会(全学組織に基づく学部組織)</p> <p>&lt;FD委員会規程&gt;抜粋 第2条 本学に、全学的見地から教育内容及び教育方法の改善を図るとともに教員の教育方法等に係る能力開発を推進するため、全学FD委員会を置く。</p> <p>2 全学FD委員会のもとに、次の各号に掲げる委員会を置く。 (1)～(10) &lt;略&gt; (11) 医療技術学部FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>【全学FD委員会】 令和2年度 11回実施 【医療技術学部FD委員会】 ※委員は学内教員4名で構成 R2年度 1回実施(※うち1回メール会議)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>【全学FD委員会】 FD活動実績および授業公開実施状況の報告、FD研修&lt;テーマ編&gt;の協議、授業アンケートの実施について協議等 【医療技術学部FD委員会】 R2.6.5 メール会議(委員は教員4名で構成) R2FDセミナーの開催について、延期を協議し承認した。(後期からFDセミナー開始をめざす)</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>【全学FD委員会】:FD研修やセミナー、授業公開および授業アンケート 【医療技術学部FD委員会】:FDセミナー</p> <p>b 実施方法</p> <p>【全学FD委員会】:FD研修 →講義およびワークショップ、講演形式等 :授業公開 →各学部の授業を参観した場合は、報告書を提出 :授業アンケート →各期の最終講義日にアンケートを実施、結果をフィードバック等 【医療技術学部FD委員会】:FDセミナー2回 おもに講演</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>【全学FD委員会】:FD研修(基本編) R2.4.6実施予定→中止 :FD研修(テーマ編) R3.3.15実施 【医療技術学部FD委員会】:FDセミナー R3.10.2 17名参加 :FDセミナー R3.11.6開催 17名参加</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>FDセミナーにおいて、教育手法や学部の将来展望、具体的な講義の手法などを相互にプレゼンテーションすることによって改善に取り組んでいる。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>年1回実施(後期)</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>授業アンケートの集計・解析結果について、教員当人に配布しており、併せて結果についてはHPに掲載し、閲覧できるようにしている。</p>
---

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項【該当なし】

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制
a 委員会の設置状況 (5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)
b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)
c 委員会の審議事項等
d その他
② 審議状況
a 審議した内容 記入例) ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容 ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  本学部は、医療人としての豊かな人間性と高い倫理観、医学と臨床検査に関連する高度な知識・技術を基盤として、検査データの適切な管理能力、他者とのコミュニケーション能力、そして課題の発見と解決能力、自己研鑽能力を涵養し、臨床検査の現場で指導的役割を果たし、また、教育や研究の場で地域的・国際的な視野で活躍できる臨床検査技師の育成を目的としている。当該目的を果たすべく編成された授業科目については、すべて計画通りに開講しており、これらの趣旨・目的は、HPや発行物で広く周知を行っている。
② 自己点検・評価報告書
a 公表 (予定) 時期 ・ 毎年8月末日 公表予定
b 公表方法 ・ 大学ホームページ上に公開予定 (令和3年8月末を予定)
③ 認証評価を受ける計画 ・ 平成22年度に評価機関 (大学基準協会) の評価 (第3回) を受審し、平成23年3月「大学基準に適合」しているとの認定を受けた。 ・ 平成29年度に評価機関 (大学基準協会) の評価 (第4回) を受審し、平成30年3月「大学基準に適合」しているとの認定を受けた。

(注) ・ 設置時の計画の変更 (又は未実施) の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書 (令和3年度)
a 公表予定の有無 [ (有) ・ 無 ]
◀ aで「有」の場合 ▶
b 公表 (予定) 時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]
c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]
◀ aで公表「無」の場合 ▶
d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。